

収支バランスの状況

経常収支比率 (当初予算ベース)

99.5% (▲0.9ポイント)

社会保障関係費は増加したものの、市税収入の増加や市新改革プランに基づく着実な改革の実行などにより、昨年度から0.9ポイント改善し、3年ぶりに100%を下回りました。また、市新改革プラン策定時の推計値と比べると、3.3ポイント改善しています。

経常収支比率とは、家計に例えると「毎月の給料で、毎月の生活費が賄えているか?」を示しています(経常収支比率が100%を超えると、家計では赤字の状態です)。



基金残高 (普通会計ベース)

175億8200万円 (▲17億8800万円、▲9.2%)

旧松寿荘の売払収入(11億円)を基金に積み立てる一方、北大阪急行延伸線や、都市計画道路を含めた新駅周辺の整備費などに基金を活用するため、基金残高は約18億円減少しました。

基金とは、家計に例えると「貯金」です。



市債残高 (普通会計ベース)

562億500万円 (21億円、+3.9%)

昨年度に引き続き、ポートレース事業会計繰入金を活用して北大阪急行延伸線の整備に係る市債発行を「ゼロ」とするなど、市債の発行抑制に努めました。一方、新駅周辺整備、旧教育センターの改修、萱野東小学校の校舎増築などに係る市債を発行するため、市債残高は21億円増加しました。

市債とは、家計に例えると「ローン」です。



図政策推進室 ☎724・6718 FAX724・6971、財政経営室 ☎724・6708 FAX723・2096

予算全体の規模 () の数値は、前年度との比較を表しています。

一般会計の予算額

658億7000万円 (64億2000万円、+10.8%)

令和5年度末の開業に向けた北大阪急行延伸線や新駅周辺整備のほか、児童発達支援事業所「あいあい園」の旧教育センターへの移転に係る設計及び老朽化設備の改修、児童数増加による萱野東小学校の校舎増築などにより、予算額は約64億円増加しました。

全会計の予算額 (特別会計・企業会計を含む)

2038億6000万円 (347億6600万円、+20.6%)

ポートレース事業会計において、SG競走(グランプリ)の開催年に当たるため、予算規模が拡大したことなどにより、全会計の予算額が約348億円増加しました。

予算編成概要

令和5年度当初予算は、引き続き市新改革プランを着実に実行しながら、未来への投資と財政規律の堅持を両立し、堅実な行財政運営を行うものとなっています。新年度も「身を切る改革を始めとした市役所改革・運営形態の見直しの実行」「住民目線に寄り添って直ぐ動き、日本一親かな市役所」「みどり豊かで住み続けたい、子育て・教育日本一のまちづくり」の3つの基本姿勢により、さまざまな取り組みを進めていきます。

特に、今年度は、北大阪急行延伸線が開業することに伴い、開業前しかできない記念イベントの開催など延伸開業に向けて機運を醸成します。また、開業時には、鉄道開業式典と合わせ、祝賀イベントを開催します。

令和5(2023)年度

新年度の

箕面市の台所事情と 予算の使いみち

令和5(2023)年度予算は、2月20日から3月28日まで開かれた市議会定例会で審議の上、可決されました。

- ごみ収集、清掃工場の管理運営 など

14,605円



ごみ処理・リサイクル

- 公園施設の管理や修繕
- 道路の維持補修 など

24,515円



公園や道路などの維持管理

- 各種がん検診
- インフルエンザ、肺炎球菌など予防接種
- 子どもの医療費助成 など

28,543円



健康

- 高齢者医療、介護保険制度への助成
- 生涯学習施設の管理運営 など

36,138円



高齢者福祉・生涯学習

- 保育所施設の管理運営
- 民間保育園・認定こども園への運営補助 など

43,527円



保育所・認定こども園

- 小・中学校、幼稚園の管理運営
- 児童・生徒の放課後活動支援 など

40,748円



教育

一般会計予算の市民1人当たりの 主な使いみち

